

# 教室の窓から

令和 6年  
(2024年) 8月  
来須 真紀

## 夏休みが終わる

夏休みが終わろうとしています。保護者にとっては、「早く学校が始まらないかな?これでお昼ご飯の心配なくて済むわ。」教職員にとっては「あー始まってしまふ。うれしいような、もっと休みたいような。」という感じでしょうか?ちなみにケースワーカーとして出向してから4か月。ケースワーカーとしては、「早く学校始まらないかな。」と思っています。

## 運動会がはじまるよー。

9月、10月は運動会というところもたくさんあると思います(最近は、6月という学校も多いのですが)今回は、運動会について少し書きたいと思います。

## 運動会のプログラムあれこれ

運動会のプログラムと言えば、定番のかけっこ(徒競走)、綱引きなどの団体競技、リレー、ダンスや組体操などの団体演技。の3つで構成されているところが多いと思います。しかし、すべての学年が3種類の競技演技をすると時間的な問題(当日だけではなく、練習時間の問題も)あるので、1・3・5年は個人競技と団体競技。2・4・6年は個人競技と団体演技とか、どの学年も団体競技はなしで、個人競技と団体演技にする。などの工夫をしています。

実は、夏休み前には、自分の学年がどの種目をするかは大体決まっています。(毎年の慣例となっていることも多いので)ですから、教員が次にすることは、他の学年との細かい調整を行っていきます。ダンスをするなら、他の学年と曲が被らないようにするとか、団体競技なら玉入れにするのか綱引きにするのか騎馬戦にするのかみたいな相談をしていきます。

ちなみに、最近は組体操がプログラムからなくなってきています。私が勤めていた学校でも6年生がとりをする組体操は、いつの間にかダンスに代わりました。わが子の学校も6年前は組体操をしていましたが、なくなってしまいました。理由は、覚えていらっしゃる方も多いかとは思いますが、組体操の練習で亡くなった子どもがいるという事件が起こり、安全を確保することが難かしさとコロナ禍にあって3密を避ける運動会を求められたことみたいなのですが。。。地域や保護者からは組体操が

見たいという声もまだまだ多いのも確かです。皆さんは、どう思われますか？

#### 運動会の練習あれこれ

夏休みが明けたらいよいよ運動会の練習が始まります。これがなかなか大変。お学年全体で練習することになるので、まず子ども人数がいつもより多い。これだけで、すべてのことに時間がかかる。そして、暑い。ほこり。コロナ禍。なかなかハードルの高さです。

教員は、その時その時に合わせて、対策を講じながら、練習をしていきます。暑さ対策としては、ミストの設置、こまめな水分補給。人数の多さに対しては、練習内容を事前に打ち合わせする、マイクを使う、指示の出し方の明確化、コロナ対策としては子どもたちの並びの間隔をあける、競技演技中以外はマスクをするなどなど。しかし、完全策というものはなかなかないもので、悩むとことです。

#### 運動会当日あれこれ

練習も乗り切り、迎える当日。教員はいつもより早くの出勤です。出勤したらグラウンドを整備したり、用具をグラウンドに出して並べたり。子どもたちの登校もいつもよりは少し早めで、特に係(役目)がある5・6年生は、早めに来て準備したりします。子どもたちが登校したら担任の先生は、学級につきます。それ以外の教員は、引き続きグラウンド整備をしたり、受付をしたり、保護者の誘導をしたりとそれぞれが役割持っています。

#### コロナ禍の運動会

私が経験した運動会の中で、難しかった運動会ナンバー1は、やはりコロナ禍の運動会だったと思います。時間短縮や入れ替え制。暑い中のマスク着用などなど本当に考えることがたくさんありました。しかし、私が感じる一番心苦しく、辛かったことは子どもたちに対する「おしゃべり禁止、声出し禁止」です。もちろん、人が話をしている際に自分勝手しゃべるのは良くないですが、応援や歓声、友だちとのちょっとした会話を制限しなければならなかったことが、本当に辛かったです。

#### それでもやる運動会

それでも、運動会をやるの？とコロナ禍の時はよく聞かれました。やめてしまえばいいのにとよく言われました。しかし、運動会をやり遂げたという充実感を得たときの子どもたちの笑顔や運動会の活動で「この子、こんないいところがあるんだ」とか「あ、前より成長したんだな」と思えるところがあると「いろいろあるけど、運動会ってやっぱりいいね」となってしまいます。皆さんは、運動会について、どう思われますか？